

ザルメン・ムロテック初来日

「ホロコーストの音楽」そして今——友情と追悼の講演会・音楽会

Friendship and Memorial Lecture-Concerts with Zalmen Mlotek

Jewish Music from the Holocaust to Today

シルリ・ギルバート『ホロコーストの音楽——ゲッターと収容所の生』（みすず書房）が刊行されて一年。同書に収録された音楽を一部再現するとともに、ニューヨークの国立イディッシュ劇場芸術監督であり初来日される音楽家ザルメン・ムロテックの経験を聴き、対話する機会をもつこととなりました。ユダヤの民の歌と音楽に触れる貴重な機会です。秋の一週間を駆け抜けます。どうぞお近くの会場にご参集ください。（入場無料）

10月9日（水）

東京外国語大学「ディアスポラ音楽の現在 ホロコーストの記憶とイディッシュ文化 Music in the Diaspora now. Memories of the Holocaust and Yiddish Culture」（ムロテックの演奏をまじえた講演後にディスカッション、通訳あり、ディスカッサント：二階宗人＋岩崎稔＋李孝徳）

研究講義棟 115 教室、開場 12 時、開演 12 時 30 分、終了 14 時 10 分

10月10日（木）

東京女子大学（ホスト：芝健介）23 号館 2 階 23201

講演「ホロコーストにおけるユダヤ人の抵抗の歌 Songs of Spiritual Resistance in the Holocaust」（通訳あり）開演 15 時

音楽会「ホロコーストの音楽 Music in the Holocaust」（ヴァイオリン：木野雅之[日フィル・ソロコンサートマスター]

開場 16 時、開演 16 時 15 分、終了 18 時

[プログラム]

サルメン・ムロテック（ピアノと歌）

「鳥が枝でまどろむ」「金、金」「干しぶどうとアーモンド」「ワルシャワ・ゲッターの敬虔なユダヤ人の歌」（「わたしは信じる」）「断じて言うな、最後の道を歩んでいるのだとは」「沼地の兵士たちの歌」「ユダヤ人の死の歌」「若人の歌」「アウシュヴィッツのタンゴ」

木野雅之（ヴァイオリン）

ウジェーヌ＝オーギュスト・イザイ 無伴奏ヴァイオリン・ソナタ第 2 番イ短調第 2 楽章「マリンコニア」、パブロ・デ・サラサーテ「ツィゴイネルワイゼン」、J・S・バッハ 無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ第 2 番ニ短調より「シャコンヌ」、クリスマス・キャロル他

10月11日（金）

西南学院大学（学内 GP「ことばの力養成講座」主催、国際文化学部共催）

「流浪の記憶、父母たちのうたった歌 Wandering Memories. Songs of our Mothers and Fathers」（通訳あり、姜信子によるインタビュー、音楽を実演しながらのトーク）

西南コミュニティーセンター・ホール、開場 14 時 15 分、開演 14 時 45 分、終了 17 時 30 分

10月13日（日）

広島文化学園大学「イディッシュ音楽の今 ユダヤ系アメリカ人の経験と移民文化 Yiddish Music and its Role in the Society (in Europe then and USA today)」（ホスト：狩谷美穂、通訳あり、東琢磨とのトーク）

長東キャンパス 0501 教室、開場 13 時、開演 14 時、終了 15 時 30 分

10月14日(月・祝)

大阪大学科研グループ「イディッシュ語文化圏における芸術活動の研究」+神戸・ユダヤ文化研究会

「ブロードウェイとユダヤ人音楽家 The American Broadway Composers and Yiddish Musical Theater」(部分通訳あり)

大阪市立総合生涯学習センター第1研修室、開場14時、開演14時30分、終了16時30分

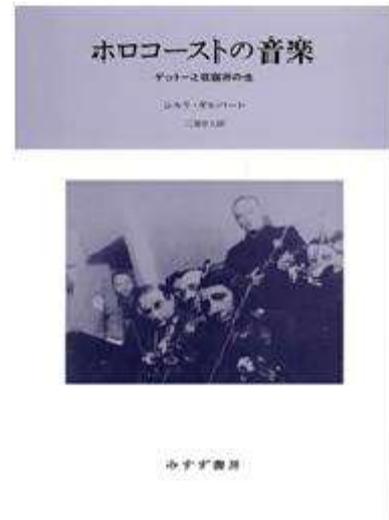
ザルメン・ムロテック **Zalmen Mlotek** (講演・歌・ピアノ)

ニューヨークに拠点がある国立イディッシュ劇場「フォルクス・ビーネ」(Folksbiene)の芸術監督。当劇場は現存するイディッシュ劇場としては世界最長寿(2年後の2015年には設立100周年を迎える)。氏はジュリアードやタングルウッドなどで音楽を学び、バーンスタイン、メータ、レヴァインにも師事。1995年にはイツァーク・パールマンを交えたクレズマー・セッション「フィドラーの家で」(In the Fiddler's House)を監督した(CDやビデオはこのジャンルのベストセラー)。父の故ヨスル氏は杉原ヴィザで最終的にアメリカに逃れた難民で、妻ハナ氏とともにユダヤ音楽の研究と保存に生涯を捧げた。

<http://www.zalmenmlotek.com/>を参照。



ザルメン・ムロテック氏近影



『ホロコーストの音楽—ゲットーと収容所の生』シルリ・ギルバート著、二階宗人訳(みすず書房)

基盤研究(A)「近現代世界の自画像形成に作用する《集合的記憶》の学際的研究」 研究代表者:岩崎稔(東京外国語大学)、研究課題番号:22242004

基盤研究(B)「イディッシュ語文化圏における芸術活動の研究」研究代表者:罔府寺司(大阪大学)、研究者番号:50205340

基盤研究(C)「アメリカにおける移民音楽の相互作用、東欧・南欧・(旧)オスマン帝国出身者を中心に」研究代表者:黒田晴之(松山大学)、研究課題番号:24617025

主催・ザルメン・ムロテックさん招聘実行委員会